

かぜ

蒲郡市民病院広報誌

海風 Kaze

断らないお産
×
受診しやすい診療体制

産婦人科 部長
大久保 大孝

産婦人科 医師
藤井 裕子

産婦人科 医師
石川 賀子

蒲郡の
”出産現場“を支える
唯一の存在として

No.

20

2026
WINTER



“選べるお産”実現へ 無痛分娩導入プロジェクト本格始動

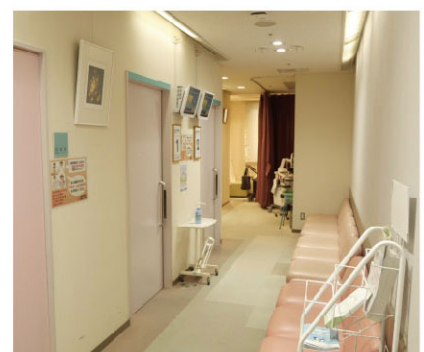
妊娠・出産・女性の
健康を支える
身近な産婦人科

当科は常勤医師3人、非常勤医師2人（この内、常勤・非常勤合わせて女性医師3人）と外来・病棟を合わせ計14人の助産師と計15人の看護師（産休・育休を含む）で蒲郡市及び近隣地域を中心とした産婦人科医療を提供しています。保険診療のみならず、行政のワンコイン検診や産婦人科検診、人間ドックの一環である婦人科細胞診も担い、地域の方々に安心して受診していただけるような体制をとっています。

また、分娩予約数に制限を設けず、里帰り分娩や転居に伴う転院のため当科を受診したい方も随時受け付けております。

気になること——
我慢せずにいつでも
女性の味方です

当科の婦人科領域は、先に述べた婦人科検診のほかに、
・婦人科疾患を思わせる症状



として（下腹部痛、不正性器出血、陰部掻痒感、腫瘍感、月経異常、月経困難など）
・不妊の相談

・更年期症状（ほてり、発汗、いらいら、気分の落ち込みなど）
・腹腔鏡手術、ダヴィンチによるロボット支援下腹腔鏡手術（卵巣腫瘍、子宮筋腫、骨盤臓器脱といった良性疾患の手術）

・婦人科悪性疾患の手術（子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌）
・悪性疾患における化学療法、放射線療法、緩和治療

・産科領域では正常妊娠、各合併妊娠（高血圧、糖尿病、ぜんそく、子宮筋腫など）、妊娠中の異常（切迫流早産、低置胎盤・前置胎盤など）、双胎妊娠

妊娠から育児まで地域と連携し、 24時間、安心できるお産をサポート

などに対応するほか、吸引分娩、鉗子分娩、緊急帝王切開術といった分娩時の異常に対応できる体制をとっており、地域の要として安心・安全な周産期医療を提供しています。日々生活していく中で気になることや不安に思うことなど、なかなか相談できないようなことがありますたら気兼ねせず受診してください。

安心・安全・快適に—
ここで生みたいと
思えるお産を

当院で安心して出産を迎えてもらうために、外来での妊婦健診をアットホームな雰囲気で行うよう心掛けています。患者さんとのコミュニケーションを図ることで、病院内にうち解け医師・スタッフとの絆を築き、患者さんのちょっとした変化や不安要素を見つけ、相談・アドバイスを

ができるようにしています。健診中に、患者さんとの会話から垣間見えた家庭環境で気になるところがあれば医療側がそれを察知し、市内をはじめお住まいの市町村の保健センターと連携・共有し、これからどのように医療提供・行政サービスの提供を行っていくかを検討し、地域一丸となって妊娠から育児までサポートできるよう協力体制を整えています。

当院の妊婦健診は、ご家族が同伴できる体制をとっています。新しい家族の成長とともに見守ることができるよう、同伴したお子さんにとって、生まれてくる兄弟の心音を聴きエコー画像を供覧することで兄・姉となっていく自覚を育んでもらえればと思います。

また、妊婦健診中には2回、胎児エコースクリーニングも行っています（母体の状態や胎児の体勢によっては実施できない場合があります）。異常

を認めた際には、小児科の先生とのカンファレンスを通じて分娩時・産後の対応について検討を行います。帝王切開時はもちろん、問題が予測されるお産では小児科医が立ち会い、迅速な処置を行うことができます。病棟内には未熟児室を備え、治療が必要なお子さんのそばで安心して過ごしいただける環境を整えています。医師・スタッフが連携し、できる限りご希望に沿ったお産となるようサポートします。出産の際には、ご家族に面会をしていただくことが可能です（面会時の制限あり）。陣痛室では、ご家族の方2名ずつ24時間の面会・サポートをしていただくことができます。また、お産の立ち会いもでき、分娩室には2名まで入室が可能となっております。新たな命の誕生をご家族とともに喜びあいながら迎えることができます。出産直後のカンガルーケアや分娩台での早期授乳な

どにも対応しています。

産後もご家庭で安心して過ごしていただけるように、当院では産後ケア事業も担っています（最大で1週間程度の滞在）。出産後にお子さんが入院となり育児行動を行う機会が少なかった方や、産後入院中に育児行動に慣れず不安を抱えたまま退院を迎えた方、入院中に育児行動の習得

がうまくいかなかった方などに対し、病棟で入院中と同じような育児行動をとっていただくことで、ご自宅での育児行動へとつなげ、自信を持って育児を行っていただけるよう支援させていただいています。退院後の外来では、育児不安や乳房トラブルなど、各種不安にも対応をしています。ご自宅でも不安を抱えてしまい、誰にも相談できず落ち込む状況になる前に相談・受診していただき、悩みや不安を聞きながら、患者さん本人と医療スタッフで解決策を導



き、解決しています。乳房のトラブルについては患者さんの乳房の状態を把握しながら授乳姿勢の見直しをはじめ、赤ちゃんの哺乳状況を確認し今後の授乳間隔や哺乳の仕方について助言・支援を行うほか、乳汁うっ滞に対し乳頭・乳房マッサージも行っています。また、産後からだいぶ経過した方で卒乳・断乳の相談事がある方に対し、お子さんの哺乳状況を確認しながら指導なども行っています。

外来・病棟ともに地域の患者さん一人一人に寄り添う医療や看護を提供し、皆さんに親しまれ、信頼される病院を目指します。

今後について

全国的に少子化が進んでいる昨今、今後もさらに少子化が進むと思われます。また、分娩取扱施設数も年々減少傾向にあります。蒲郡もその地域のひとつとなっており、蒲郡市内の産婦人科が当院のみとなってしまう、市民の方々によりよい医療提供をせねばと常日頃考えております。

蒲郡も少子高齢化に伴い分娩件数が減少傾向にあります。合併症妊娠やハイリスク妊娠の患者さんは少なからずいる状況です。一方で、個々の出産に応じた医療の提供を求められています。それらを踏まえ、当院でいかに安全でかつ安心して出産できるかを、産婦人科だけではなく小児科の先生方の協力も得ながら実行しています。たくさんの方の要望がある中で、私たちが皆さんに満足していただけるような医療提供ができるよう尽力してまいります。

蒲郡唯一の分娩取扱施設として、無痛分娩の導入検討や「断らないお産」「受診しやすい診療体制」づくりが着実に進んできました。これはまだ通過点で、産婦人科はこれからさらに発展していくと期待しています。

地域に信頼される病院を目指し、引き続き力を合わせていきましょう。



蒲郡市民病院
城CEO

”断らないお産”と”受診しやすい診療体制”で、地域の妊娠・出産を支えています。



当院産婦人科では、蒲郡市唯一の分娩取扱施設として、「断らないお産」を理念に掲げ、分娩予約数に上限を設けず、里帰り分娩や転院希望の方など、出産場所に迷っている妊婦さんをできる限り受け入れています。出産先が見つからず困ってしまう妊婦さんを一人でも減らしたい——その思いを大切に、地域の出産を支える体制を日々整えています。

さらに当院では、妊婦健診や婦人科診療を受診しやすいよう、午後診療も実施しています。

仕事や学校、家事・育児で午前中の通院が難しい方でも、安心して受診できる環境を整えること

これからも当院は、
”断らないお産”

×
”受診しやすい診療体制”

の両面から、地域の妊娠・出産・女性の健康をしっかりと支えてまいります。



“生まれる”を支える、 “育つ”を守る。

お産も子育ても、安心をひとつに。
産婦人科 × 小児科の連携医療

安心してお産・子育てができる
地域づくりを目指して

当院小児科は、地域の皆さんが安心して妊娠・出産・子育てを迎えられるよう、産婦人科と連携し、24 時間体制で診療を行っています。赤ちゃんの健康を守ることは、ご家族にとっても地域全体にとっても非常に大切なことです。当院では小さなお子さんや赤ちゃんに「何かあったときにすぐ対応できる体制」を整えていることが大きな強みとなっています。

現在、当科には常勤小児科医が 5 名在籍し、昼夜を問わず小児・新生児の診療を行っています。お産の際には、小児科と産婦人科が緊密に連携し、分娩中から出生直後まで赤ちゃんの状態を丁寧に見守っています。緊急帝王切開が必要となった場合や、生まれた赤ちゃんに呼吸障害や急な容体変化が見られた際には、小児科医が速やかに対応し、適切な処置を行います。さらに、新生児に対して輸液療法や酸素吸入療法といった初期治療を院内で実施できる体制も整えています。より高度な集中治療が必要な重症新生児については、豊橋市民病院の NICU（新生児集中治療室）と密に連携し、迅速な搬送が可能です。特に重篤な呼吸障害など緊急性の高い病態では、赤ちゃんが「最も適した



医療」を確実に受けられるよう、迅速な判断と連携を徹底しています。

安全なお産と質の高い新生児医療を支えるため、当院では新生児蘇生法講習会を定期的に開催し、看護師・助産師を含む多職種が参加してチーム全体のスキルアップに努めています。どのスタッフが対応しても一定の質を保てるよう、教育体制にも力を入れています。

また、治療が可能な病気をもつ赤ちゃんを早期に発見し、適切な治療につなげることも大切にしています。全国一律で行われる「先天代謝異常等検査（公費検査）」に加え、ご希望のご家族には自費で受けられる「拡大スクリーニング検査」も提供しています。この検査では脊髄性筋萎縮症や重症複合免疫不全症など 8 つの疾患を対象としており、早期診断・早期治療による大きな予後改善が期待されます。加えて、聴覚スクリーニング検査、先天性心疾患の早期発見につながる下肢の酸素飽和度測定、新生児黄疸を見つける経皮黄疸計（皮膚にセンサーを当ててビリルビン量を測る痛みのない検査）によるスクリーニングなど、多方面から赤ちゃんの健康を確認しています。

さらに当院では、赤ちゃんの「痛みのケア」にも積極的に取り組んでいます。痛みを伴う処置の前に少量のショ糖液を口に含ませることで痛みが和らぐことが知られており、こうした方法を活用して赤ちゃんの負担をできるだけ軽減しています。

当院小児科はこれからも、産婦人科と協力しながら、地域の皆さんに安心していただける医療を提供し、赤ちゃんのご家族の健やかな未来を支え続けてまいります。

文責 小児科 部長 伊藤 孝一

産婦人科病棟師長からのメッセージ



5階西病棟 看護師長
原田 清美

「女性の一生に寄り添うケア」を大切に、
産科と婦人科の両面から
女性の皆さんを支えています

産婦人科病棟には、妊娠・出産を迎える方はもちろん、婦人科手術や化学療法を受けられる患者さんも多く入院されます。女性として抱える悩みや不安に丁寧に寄り添い、身体だけでなく心のケアにも力を入れながら、一人ひとりに合わせた看護を提供しています。そして患者さんが「ここでなら安心できる」と思える環境づくりを大切にしています。

産後ケアと地域連携の強化

産後は、心も身体も大きく揺れる時期です。当院で出産された方に限らず、令和7年度から豊川市・幸田町をはじめ他

院で出産された方も積極的に受け入れ、産後ケアを提供しています。授乳や育児の悩み、疲労回復など、お母さんが安心して過ごせるよう、丁寧にサポートさせていただきます。

新生児蘇生・母体救急への取組

新生児蘇生（NCPR）や母体救急への対応にも病棟全体で力を注いでいます。定期的な研修やシミュレーションを通して「もしもの時に確実に守れるチーム」であるための技術と連携力を磨き続けています。

産科でも婦人科でも、女性の人生の大切な局面に寄り添えること——それは蒲郡市民病院産婦人科の大きな誇りです。妊娠・出産の喜びも、病気や治療への不安も、どちらも女性にとって大切な「人生の時間」。私たちは、そのすべてを安心して託していただける、温かく支え続けられる病棟でありたいと考えています。

これからも、地域の女性とご家族が安心して頼れる産婦人科病棟を目指し、スタッフ一同、心を込めた看護を提供してまいります。

安心・快適・うれしいを支える お産サポート



お産セット

令和7年度リニューアル。ポリエチレン製手提げバックから不織布製トートバッグに変わり、デザインも一新。中身は出生後すぐにかぶる可愛い黄色のベビーキャップ、肌にやさしい日本製コットン100%のふんわりドライコットンシート、厚手で大きなおしり拭きも加わりました。

面会コーナー

面会可能時間
15:00～15:30
18:00～18:30
母児同室中は母児ともに部屋で面会できます。
※ご家族の方のみ



お祝い膳

蒲郡クラシックホテル波多野総料理長監修

出産後の月・水・金の夕食でご提供（1回のみ）。主食はパンまたはライス、主菜は肉料理または魚料理からお選びいただけます。写真は国産鶏モモ肉のソテー赤ワインソースです♪

分娩室



令和7年度リニューアルした分娩台は今までよりも一回り大きく、ベッドに移行可能。隣にはインファントウォーマーが設置しており、新生児のケアが迅速にできるようになっています。

あなたの健康情報をクラウドで簡単管理

がまっと！

がまっと！は、蒲郡市が運営する事業です。

登録する方
増えてます！

蒲郡市が運営する初の健康情報クラウドサービス

『がまっと！』とは

あなたの健康と医療情報を一元的に管理するためのクラウドサービスです。医療機関において、より適切な診断を提供するために役立ち、医療の質を向上させます。

『がまっと！』は、市内の66の施設で利用可能です。登録者数は、2025年12月時点で2,500名を超えました。特にここ最近では、『がまっと！』に登録する方が増えており、利用が広がっています。

市内のいこいの場で「がまっと！」の
出張登録を行っています

●出前健康講座からお申し込みください。

出前健康講座お申込先
蒲郡市民病院 デジタル医療推進室
電話：0533-66-2200（代表）
FAX：0533-66-2303

お申し込み
はこちら！

がまっとカードは当院で即日発行できます

受付窓口：1階中央受付3番窓口
受付時間：平日9：00～17：00

がまっと！

公式HPは
こちら ▶**Follow us!**公式Instagramのフォロー
よろしくお願いします！**蒲郡市民病院**

普段あまり見られない病院の日常や雰囲気をご紹介します。イベント・採用情報も確認できるため、要チェックです♪

**蒲郡市民病院 看護局**

蒲郡市民病院の看護師の魅力をお伝えします。看護師の仕事に興味をお持ちの方は、ぜひフォローしてくださいね！

**蒲郡市民病院 研修医**

研修医の取り組みや研修の様子をお伝えします。「蒲郡市民病院の研修医って？」がわかる、研修医の日常を発信中！



9月～



泌尿器科医師

さかた たくや
坂田 卓弥

出身大学 名古屋市立大学

前勤務地 名古屋市立大学病院

「誠心誠意」、患者さま一人ひとりと丁寧に向き合う診療を心がけています。「日々精進」の姿勢で知識と技術の向上に努めています。

10月～



内科医師

いであつき
井手 敦基

出身大学 名古屋市立大学

前勤務地 知多半島
りんくう病院

蒲郡の医療に貢献できるように、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

新規赴任医師のご紹介
令和7年秋、新しく2名の医師が赴任しました。



病院長に就任いたしました安藤朝章です。
今後も、地域の皆さんに安心して
受診していただける病院を目指します。



蒲郡市民病院長 安藤 朝章

あけましておめでとうございます。

令和7年10月1日付で第9代市民病院長に就任いたしました安藤朝章です。日頃より当院の運営に温かいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私は平成23年に消化器内科医として当院に赴任し、この地で患者さんと向き合いながら医療に携わってまいりました。赴任当時、病棟の窓から眺めた三河湾の美しさに胸を打たれたことを、今でも鮮明に覚えています。

さて、当院は市内唯一の

二次医療機関として、「患者さんに対して、最善の医療を行う」という基本理念の下、日々医療の提供に努めております。

令和7年度は、整形外科領域での手術支援ロボット「Mako (メイコー)」の導入をはじめ、脳神経外科・循環器内科それぞれに特化した新たな血管撮影装置も整備し、救急医療の強化を進めました。また、地域の要望に応え、てんかん外来を含む精神科外来の充実と、新たに総合診療科を開設しました。さらに、市内で唯一の産婦人科を担う立場として、無痛・和痛分娩の実現に向けた専門チームによ

る検討も進めています。

病院経営としては、人件費や医療材料費の高騰など、病院を取り巻く環境は依然厳しい状況にありますが、手術支援ロボットなど先端機器の導入が進み、より安全で負担の少ない医療を提供できる体制が整いつつあります。

本年も、地域の皆さまに安心して受診していただける病院を目指し、経営の安定化と新棟整備計画の推進に取り組む所存です。

今後とも当院職員一同、地域の皆さまとともに歩み、地域医療の発展に尽力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

人生のはじまりに寄り添うチームの想いに触れて...

新しい年の始まりにお届けする今号は、産婦人科を特集しました。産婦人科は、赤ちゃんの誕生という「人生のはじまり」に立ち会う診療科です。編集を通して、お産を支えるチームとしての姿勢や想いに触れることができました。日々の診療に真摯に向き合う医師たちの姿が、誌面から少しでも伝われば嬉しく思います。

この一年が、地域の皆さんにとって安心と笑顔の多い年になりますよう、広報部一同願っております。

広報担当者 U・H

編集
後記

FOUNTAIN FEB.